

液状化する親密圏



本連続セミナーの狙いは、親密圏の核となる家族と結婚、居住形態の変化や、その変化(液状化)がもたらす影響について具体的な事例をもとに考えてみることです。結婚の最前線(ポリアモリー、同性婚)、居住形態(シェアハウス)、性的介護、売春の変貌などを取り上げて、参加者のみなさんとともに考える機会を設けたいと思います。

京都大学東京オフィス

東京都千代田区丸の内1-5-1
新丸の内ビルディング10階

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office/about/access.html>

6/23(木)

雨宮優

音楽イベントプロデューサー、DJ、
シェアハウス管理人、
「現代の駆け込み寺」リパ(部)などなど。

「正しさらしきもの」を解放する“ゆるさ”

さとり世代と呼ばれる私たちの世代は関係性に特に気を使います。見えないコミュニケーションがネットを介して飛び交う一方で、見えにくい空気はパレードの先頭で私たちを先導します。私たちは正しいことより正しいとされることに行動が傾くことも多々あります。ただ、そんな「正しさらしきもの」なんてゆるい尺度を解放していくのもまた、ゆるさなんだと気づきました。「現代の駆け込み寺」リパ部の管理人と、「無音の音楽フェス」Silent Ifの代表を務めて分かった現代の解放術についてお話しします。

6/16(木)

深海菊絵

一橋大学大学院社会学研究科・博士後期課程、
社会人類学、家族研究、セクシュアリティ研究

ポリアモリーと子ども

近年、ポリアモリー (polyamory) という性愛スタイルが米国を中心に世界で展開されている。ポリアモリーとは、同時に複数のパートナーと合意の上で親密な関係を築く性愛スタイル・生きかたを指す。本報告ではポリアモリーが形成する家族である「ポリファミリー」、なかでも子どもがいるポリファミリーに着目する。日本と米国のポリファミリーの事例を紹介し、そこから液状化する親密圏における人びとの協働関係や社会的・心理的葛藤について検討する。

6/30(木)

森あい

弁護士(新卒弁護士会)、
同性婚入籍推進弁護士員

現代日本の同性婚ニーズ 法制度の現状と課題

同性カップルの登録パートナーシップ法がデンマークで成立したのは、1989年。2001年にはオランダで同性どうしの婚姻が可能となった。日本では、ようやく、この1、2年で、同性パートナーシップを巡る議論が活発になるに至った。本発表では、日本で同性どうしの婚姻が可能になることを求める人たちの、婚姻を求める理由を明らかにする。その理由は、様々な法的効果を求めるものから、人びとの意欲への働きかけを期待するものまで幅広い。その上で、同性パートナーシップに関し、日本の法制度の現状を示し、課題を検討する。

7/7(木)

坂爪真吾

同性愛者仲間がいっしょの性的介護ホワイトハズ、
風俗店での無料生活・法律相談「風テラス」など主宰

新しい「性の公共」をつくる

今の社会では、性は極めて個人的なものとして考えられています。そのため、公の場で性の問題が語られる機会は多くありません。しかし、一見個人的に見える性の問題の背景には、様々な社会問題が潜んでいます。ホワイトハズは、個人化されがちな性の問題を社会の問題として捉え直し、公の場での議論や実践を通して解決していくことを目指すNPOです。障がい者、重負、風俗で働く女性など、社会的に弱い立場にある人たちの性のリアル、そして彼・彼女らの性に関する尊厳と自立を守るために私たちが取り組んでいる活動の内容と課題を紹介します。

7/14(木)

田中雅一

京都大学人文科学研究所・教授、
文化人類学(南アジア研究)、
ジェンダー・セクシュアリティ研究

結婚と売春

結婚や家族のない社会はほとんど存在しないが、その形態は多様だ。現代日本において結婚に求められているのはなによりも夫婦間の愛情であり、その性関係も愛情と密接に結びついている。金銭のやりとりと引き換えに行われる性的サービスを意味する売春は、夫婦や恋人たちの間でなされる性の対価にあるとみなされている。本発表では、日本やインドでの売春調査に基づき、結婚と売春との関係を見直すことで、現代社会における親密圏の液状化の実態に迫る。

6月16日～7月14日 毎週木曜日

開場 午後5:30 開演 午後6:30-8:00

講演と質疑応答 司会 田中雅一

〔予約不要・参加無料〕

お問合せ | 京都大学人文科学研究所 総務掛

TEL: 075-753-6902 <http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp>

メールアドレス: z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp

主催 | 京都大学人文科学研究所・共催 共同研究班「ウメサオ・スタディーズの射程」



10
ANNIVERSARY

液状化する親密圏



深海菊絵
Kikue Fukami

一橋大学大学院社会学研究科・博士後期課程、社会人類学、家族研究、セクシュアリティ研究

〈活動・業績など〉
著書に「ポリアモリー—複数の愛を生きたる」2015 平凡社新書、「現在家族ベディア」比較家族史学会編 2015 分担執筆(「ポリアモリー」「オープン・マリッジ」など担当)弘文堂がある。2016年3月まで「長島隆のつくりかた研究所」研究員として、「ポリアモリーの人生ゲーム」を制作。2016年1月に神奈川芸術劇場KAAIで行われたポリアモリーを題材とした演劇公演にて監修を務める。



雨宮優
Yu Amamiya

音楽イベントプロデューサー、DJ、シェアハウス管理人(「現代の駆け込み寺」リバ邸)など。

〈活動・業績など〉
2015年2月にサイレントディスコプロデュース事業「Silent lit」を開業。同年4月クラウドファンディングを達成し野外サイレントフェスを開催。今年3月には「世界初の量子力学的野外音楽フェス」Quantlumを開催する。
Silent lit <http://www.silent-lit.com/>
リバ邸 <http://lively-house.com/>



森あい
Ai Mori

弁護士(熊本県弁護士会)、同性婚人権救済弁護団員

〈活動・業績など〉
同性婚人権救済弁護団(2015年7月7日、国会等へ同性婚を法制化するよう勧告することを求めて、455名で日弁連に対し申し立てたもの)の一人。同申立は、現在、調査中で結論はまだ出ていない。「GID・法律上も父になりたい裁判」(2013年12月10日最高裁第三小法廷決定)弁護団員。



田中雅一
Masakazu Tanaka

京大文学部人文科学研究所教授、文化人類学(南アジア)、ジェンダー・セクシュアリティ研究

〈活動・業績など〉
『供給世界の交戦 南アジアの歴史人類学』2002 法政館、(編著)『暴力の文化人類学』1998 京都大学学術出版会、(共編)『ジェンダーで学ぶ宗教学』2005 世界思想社、『ジェンダーで学ぶ文化人類学』2006 世界思想社、(編著)『軍神の文化人類学』2015 国智社。



坂真真吾
Shingo Sakazume

男性重度身体障がい者の性的介助ホワイトハンズ、風俗店での無料生活・法律相談「風アラス」など主宰。

〈活動・業績など〉
2014年社会貢献者表彰(公益財団法人社会貢献支援財団)、2015年新潟人間力大賞グランプリ受賞(一般社団法人新潟青年会議所)、著書に「セックス・ヘルパーの尋常ならざる情熱」2012 小学館101新書、『男子の貞操 僕らの性は、僕らが語る』2014 ちくま新書、『はじめての不倫学』2015 光文社新書、『性風俗のいびつな現場』2016 ちくま新書がある。



会場：京都大学東京オフィス

〒100-6590 東京都千代田区丸の内1-5-1
新丸の内ビルディング10階
Tel: 03-5252-7070 Fax: 03-5252-7075

●JR、東京メトロ丸ノ内線「東京駅」直結

東京駅直結の地下1Fからは、オフィス専用入り口を通りエスカレーターかエレベーターで1Fオフィス専用のエントランスロビーへお上がりください。1F-Bゾーン受付本則を通り(赤い矢印)手前のエレベーターで10Fまでお上がりください。